

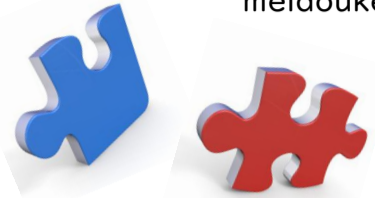
# 夢に向かって!



発行  
令和4年6月16日(木)  
名古屋道德教育研究会 広報部



meidouken.com



## 「最近の・これからの、道德教育・道德科の授業」

名古屋道德研究会会長 南陵小学校長 加藤英樹

令和の日本型学校教育の実現に向けて、教育界の変革はめざましいものがあります。特に、ICTの普及と活用は旧来の教育方法を一変させ、個別最適な学びの展開に、次世代を担う人材づくりに、ひいては未来の(わが国および国際的な)社会を創っていく上で、大きく貢献していると思います。

一方で、道德が“特別の教科”として実施され、小学校では5年目、中学校では4年目となりました。令和3年度の文科省の「道德教育実施状況調査」によれば、「特別の教科」化を受けて『「道德の時間」に比べて学習意欲が高まった。』『道德教育に対する教師の意欲が高まった。』『道德の授業が軽視されなくなった。』など、私たち道德教育の充実を志すものには、喜ばしい変化が報告されています。

しかし、その報告も、教育界の変革の中ではごく小さなことであり、道德の話題性は一時期に比べて非常に低下しているように感じます。それでも道德教育の担う「心を育てる」ということは、私たち人間が人間たるために、いつの時代にも教育の(人を育てることの)基底をなすものと私たちは信じています。

「不易と流行」という言葉がありますように、道德教育・道德科の授業も教育界の変革の時流をとらえることに前向きになりつつも、変わることのない「人として大切にしたい考え方や行動様式」を大切な教育課題として取り組みを進めたいと思います。

## 「自分らしく生きる子どもたちの育成を目指して」

名古屋市道德研究会委員長 苗代小学校 尾関基秀

私たち名古屋道德教育研究会研究部(名古屋市道德研究会)は、道德教育を通して、子どもたち一人一人が笑顔絶やさず、夢に向かって日々歩み続けていってほしいと願っています。そこで、本年度は、「夢に向かって自分らしく生きる子どもたち」を全体テーマとして研究を進めます。

月に一回程度行われる学習会では、代表者によって授業展開が紹介されたり、授業ですぐにでも使える指導方法が紹介される「合同学習会」が開催されたりしています。また、合同学習会の後は、子どもたちの実態に応じた個別最適な支援について考える「授業づくり研究部会」、活発な議論が広がる授業展開について考える「テーマ研究部会」の2つの部会に部員が分かれて、授業実践について話し合いを行っています。

みなさんは、毎週の道德科の授業を行う上で、困ったことや悩んだことはありませんか。

「子どもの発言が少ない」

「なかなか議論にならない」など、

日々の道德科の授業についての悩みは、部員の間でも毎回話題になります。私は、そのような悩みを部員と話し、一緒に考えることで、授業のヒントをもらったり解決方法が浮かんだりして、次の日からの道德科の授業が楽しみになることが多くあります。

「子どもたちが楽しみにする道德の授業をしたい」

「毎週の道德の授業を、自信をもって進めたい」など、

少しでも道德科の授業に興味をもたれている方は、ぜひ一度部会に足を運んでください。



名古屋市道德研究会では、名古屋市の先生方のニーズに応えられるよう一年を通して、下記の日程で学習会を開いています。学校努力点や授業参観など、道德科の授業をする際のアイデアをお探しの先生方、他教科領域との連携を考えていらっしゃる先生方も是非、学習会へご参加ください。参加を希望される方は、苗代小学校 尾関基秀 までご連絡ください。詳しくは、meidouken.com をご覧ください。

7月6日水曜日 9月6日火曜日 9月21日水曜日 11月2日水曜日 12月15日木曜日 1月11日水曜日 2月15日水曜日

※いずれも、18:30より 教育館で行っています

次回「名道研だより62号」では、子どもたちの実態に応じた個別最適な支援について考える「授業づくり研究部会」の研究授業の様子についてお知らせする予定です。